



6月1日に開かれた槇村浩碑前祭



第39回高知県本部総会議案

## 平和と民主主義の政治、憲法をくじかず政治実現を

### 活動報告と運動方針

(案) 岸田内閣は、2022年12月

安保関連三文書を閣議決定し、戦争する国への転換を推し進めた。国会の決議でもないこの三文書が着々と実行に移され、日本が戦

争する国に突き進みつつある。これ迄の「専守防衛」政策ではできないとされてきた「敵基地攻撃能力」の保有をはじめ、G・P比2<sup>2/3</sup>の軍事費の確保によりアメリカ、中国に続いて世界第三位の軍事大国となり、平和国家から地域の脅威となる。軍事費確保のために、社会保障や教育費の削減、震災復興財源の取り崩しなど国民生活への影響は必至である。

沖縄では辺野古の米軍基地建設を強行し、西南諸島にアメリカの戦略に基づく陸上自衛隊のミサイル基地を配置した。全国で自衛隊の基地や弾薬庫を地下化し

相は、米大統領と会談、日米共同声明で米軍と自衛隊の指揮統制の枠組みの強化と日米同盟のさらなる強化を約束した。

ロシアがウクライナに侵攻し、多くの国民が犠牲となり、八百万人もの国民が難民となって国外に逃れた。パレスチナではイスラエルによる虐殺が続いている。一日も早く停戦が実現し、復興に向けた取り組みが行われなければならぬ。平和は軍事拡大では作れない。戦争を憎み、あの暗黒社会を許さないために闘つてきた私たち同盟は多くの仲間と手を結んで運動を広げていく。

能登半島地震は多くの犠牲を出した。志賀原発は停止中で大事には至らなかつたが、事故を想定した避難計画は道路崩壊などで現実性が問われた。伊方原発は抗堪性を強化し、戦時に向けた訓練も強化している。

3月高知県知事が県民への十分な説明や議論をすることなく、高知港、須崎港、宿毛湾港の特定港湾の指定に合意した。平時、有事を問わず訓練が行われる。4月アメリカを訪問した岸田首相は、米大統領と会談、日米共同声明で米軍と自衛隊の指揮統制の枠組みの強化と日米同盟のさらなる強化を約束した。

政治資金を裏金で賄つていたことが明らかになり、自民党への批判が広がった。4月の衆議院補欠選挙では3選挙区とも立憲の候補が当選した。野党と市民の共同を広げ、国民が声をあげ、内閣の退陣を求める。国会の憲法審査会が明文改憲をめざして動き始めているが国民は憲法改正を望んでいない。来るべき総選挙で勝利するために力を尽くそう。

### 第38回総会以降の活動

高知県本部はこの1年間、主な取り組みとして槇村浩・生誕祭(6月1日)、笹の墓標展示会(6月29日～7月9日)、槇村浩・命日墓参(9月3日)、筒井泉吉没後90年墓参(9月19日)、「筒井泉吉・黒原善太郎」講演会(11月10日)、日本近現代史学習会

(3月21日)を行いました。ブロック集会は4年ぶりに高知が担当し、四国4県で交流しました。

**組織の拡大・強化**

会員拡大( )名  
退会者( )名  
会員数は( )名

新しい戦前を思い出させる今、同盟が目指す戦争と暗黒政治を許さない運動が今重要です。

この1年は顕彰活動、学習講演会を通して組織の拡大強化を図ってきました。コロナ禍を経てランチ会から入会者を迎えていました。ただ本年度は組織整理を行い退会者が多く出て前総会から後退となりました。



自由民権記念館で開かれた笹の墓標展示会



「伊藤千代子」上映会は高知市2回上映に終わり、引き続き実施に向け働きかけます。講演・学習会は2回取り組みました。参加者から歴史を学ぶ意義が強調され連絡網が出来、定期開催の要望が出されました。「伊藤千代子」上映、講演・学習会を支部作りに活かします。

**国会請願署名**

最終集約  
個人署名」「筆  
国会請願は5月15日、県本部は中央本部に一任し郵送で署名を送り届けました。署名数はコロナ禍以降、団体・個人への要請が弱まり1000筆を割り込んでいます。

掘をどう進めるか課題となつてきました。県内には知られていない多くの犠牲者がいます。その発

主な活動として横村浩の生誕祭、命日墓参を行っています。今年は獄死した筒井泉吉、黒原善太郎没後90年にあたり墓参を計画しました。筒井泉吉は命日に実施、黒原善太郎は事前準備が出来ず計画は中止です。

### 治安維持法犠牲者を顕彰する活動

今後、目標達成に向け会員一人々から5筆、10筆に協力いただく事が大切になります。

とを考えます。

講の継続が重要でなく個人的な繋がり、団体要請の継続が重要と見えます。

今年は(メーデー

ています。

### 地方議会意見書採択

自治体要請が出来ずに終りました。過去の可決自治体を検証し、今後の地方議会採択を目指さなければなりません。

組織の拡大強化

会員数300名の県本部を目指し、全国の教訓に学び支部組織を強化します。

具体的な取り組みとして

①「伊藤千代子」上映を県下

### 財政・機関紙

会費は組織を支える大事な役割を持っています。引き

続き納入向上を目指します。機関紙は毎月発行を続け定期発行を続ける為に複数の担当者による編集体制の確立が課題です。

会請願活動

個人署名 40000筆

団体署名 300筆

を県目標とし、支部別目標

は昨年度目標と同じとします。

罪と賠償を要求する国

会請願活動

個人署名 40000筆

団体署名 300筆

を県目標とし、支部別目標

は昨年度目標と同じとします。

国会請願は同盟のもつとも重要な活動の一つです。

達成に向けて団体への要請、署名協力者を増やす事に努めます。

女性部はランチ会を重視

し会員の絆を深めることを

進めています。10月に県内屈指の三翠園ホテルで食事会を開きました。

当日は岡村会長を含む23名が参加し3名の入会者を迎える事ができました。ランチ会はこれ以外に2回実施しました。

「不屈」県版、女性部「一ナード」記事掲載を継続しています。

今年は5回投稿しました。

四国ブロック集会に参加。

全国女性交流集会は2名の派遣を予定しましたが、病

気のために参加見送りとなりました。

戦前、主権在民・侵略戦争反対・平和を守るために生

命を懸けて不屈に闘った人

たちの顕彰活動に取り組み

ます。

県本部発行書籍の活用、

新たな犠牲者発掘調査を行ない、全国的名簿作成に協力します。

### 地方議会意見書採択

専門部会を開催し、意見書採択に向けて自治体要請を行います。

地元議会意見書採択

会員数300名の県本部を目指し、全国の教訓に学び支部組織を強化します。

女性部総会を1月に予定しましたが中止です。今年の教訓を生かし女性部活動を行います。

## ②活動計画

- ・女性部総会をひらきます。
- ・映画「伊藤千代子」全国第三次上映を県本部と協力し郡部市町村で実施します。

・ランチ会を高知市中心に続けながら、県内各地域で取組みます。

・女性犠牲者の顕彰活動を行います。

・全国女性交流会に代表を2名派遣します。

・学び、つながる、発信する女性部をめざしていきます。

## 青年部

①活動報告  
青年主体の取り組みは実

施できませんでしたが、個々の会員が戦前の治安維持法犠牲者の顕彰に参加しました。福岡県の取り組みに参加したことでの学習会を取り行つたりしました。

また、昨年取り組まれた伊



劇団青年座の「ケエツブロウよ伊藤野枝ただいま帰省中」

筆者は先日、演劇「ケエツブロウよ伊藤野枝ただいま帰省中」（劇団青年座公演）を観るために、東京に行ってきました。劇作家・マキノノゾミ氏と演出家・宮田慶子氏による作品で、本誌でも何度

## 「ケエツブロウよ伊藤野枝ただいま帰省中」を観て

森本 琢磨

藤千代子の生涯を描いた映画「我が青春尽きるとも」の鑑賞や、市民劇場の会員などは「獅子の見た夢」「星をかすめる風」などの観劇を通して、戦争へ向かう時代の恐ろしさを体感しました。

## ②活動方針

新しい署名用紙を用いるなど、治安維持法犠牲者へ

の謝罪と賠償、歴史を風化させない取り組みを通じて、広く世論の支持を受けることを目指していきます。

かつての戦争へ突き進んだ時代を繰り返さぬよう、経済秘密保護法などに警鐘を鳴らし、集会などの開催を検討します。

時代を繰り返さぬよう、経済秘密保護法などに警鐘を鳴らし、集会などの開催を検討します。

か紹介した戦前の女性活動家・伊藤野枝を主人公にしたものだ。マキノ・宮田両氏による演劇は、筆者の所属する「高知市民劇場」の例会

で堪能させていただいたことがあり、これに加えて伊藤野枝がテーマとなれば観に行くしかない。上演は、5月24日～6月2日に新宿の紀伊國屋ホールにて行われた。

伊藤野枝といえば、男尊女卑の時代にその不条理を訴え、雑誌『青鞆』の論壇等で活躍した人物だ。そして、思想家・大杉栄の交際相手となりました。

青鞆時代の野枝や甘粕事件は直接的に描かれるとはないのだが、この「場面を実家に限定した演出」が逆に

よい効果をもたらしているのだから、マキノ・宮田コンビのマジックは素晴らしい。マキノ氏はコミカル演出にも定評があり、本作に所々散りばめられたそれらも、ストーリーによいアクセントを加えていた。さらに、「あのエピソードを」と入れてきたか」と野枝ファンを唸らせるであろう脚本も秀逸で、マキノ氏が本作に当たっていきに野枝や大杉について調べたかがよく分かる。

野枝の実家は福岡なので、本作で飛び交うセリフのほとんどは博多弁だ。これが何とも小気味良く、不思議な魅力を放っていた。本作の野枝も、実家メンバーとの会話はこの博多弁なのだが、自身の論を唱える際は標準語に戻り、思想家としての姿に「変身」する。このギャップが実際に見事で、悩む労働者に対して大杉とともに情熱的に訴える姿は、まさに情

庄巻であった。この熱いシーンは、本作がいざれどここで再上演されることがあればぜひ堪能してほしい。

本作を締めくくる甘粕事件は、野枝と大杉の死を嘆く登場人物と二人の「幽霊」の演出で表現された。この幽霊演出は、もしかしたら贊否両論だったかもしけないが、これもまたマキノ・宮田コンビらしい描写であり、一種の「救い」のように感じたものだ。同時に、二人の命を奪った権力への怒りはしっかりと訴えられており、それは、甘粕事件以降、ますます暗黒時代へと突入していく大日本帝国への怒りでもある。そして、「新たな戦前」を確実に歩んでいる今の日本を野枝が見たらどう思うだろうか? といふことも考えさせられた。

2時間40分の上映時間があつという間に感じた素晴らしい作品であった。本作に携わったすべての皆様に、この場を借りて厚く感謝を申し上げたい。

## 女性部の広場 「改定農業基本法強行成立」 「これで良いのですか!」



5月18日に開かれた長谷川敏郎氏による農業問題の講演会

農業政策の方向性を示す改定食料・農業・農村基本法が5月29日の参院本会議で、自民、公明、維新の賛成で可決成立しました。(反対は共産、立民、国民)

1999年の施行以来四半世紀を経て初めての改定で、しかも食料自給率38%、国連で「飢餓国」と認定されているという状況にも関わらず、報道の感度の鈍さが氣になつてしまひません。赤旗では、29日全国食健連が衆院第2議員会館でシンポジウムを開き、参院本会議で強行成立された改定

食料・農業・農村基本法(農基法)に対して、日本の農業再生と食料自給率向上に反すると、抗議の声を上げたことや、紙議員の反対討論等改定農基法の問題点が指摘されています。

高知新聞は、共同通信からの配信をそのまま流したと思われますが、「改正農業基本法が成立 危機対応、価格転嫁促す」という大きな見出しどともに「適正価格実現に期待」というJJA全中会長のコメントを載せ、1999年の施行以来初の改正で良くなるかのような記事でした。

衆院通過の時も同様の記事だったので、高知新聞編

集局長さんに、ちょうど18日に農民連会長の長谷川さんの講演会を計画していたのでその資料と改定農基法の問題点を送り、一次産業を大事にしなければならないことや、紙議員の反対討論等改定農基法の問題点が指摘されています。

まだこれから「戦時食糧法」等関連法案の審議が続くようなので、「改定法の内容を国民に徹底的に暴露し、野党と連帯し関連法案の廃案、国内増産と食料自給率向上、食と農の再生に役立つ政治への転換を求める運動を一 致するすべての団体・国民と力を合わせてたたかう」と決意表明している農民連のみなさんを応援していきた

☆森岡幸一、秦愛  
☆県本部総会

6月22日(土)草の家

幹事会出席者が少なく、5月23日に継続審議を行いました。

議案は6月号に掲載し配布します。

☆女性部、青年部  
活動報告ありません。

☆その他  
7月幹事会の日程は現在調整中です。

○横村浩生誕祭  
(同盟日程)

6月1日(土)11時～  
歌碑前

○全国大会

6月15日(水)～16日(木)  
東京

○県本部総会

6月22日(土)14時～16時  
草の家

○編集後記

裏金問題に端を発した政治資金規正法の改正は公明

に維新も取り込んで骨抜きで採決。自民に自浄作用を求めることが無理な話。(M)

## 県本部総会は6月22日(土)

3、北120、香美15、南

国20、その他228

(団体)18筆

※国会請願日は5月15日

☆同盟員 2250名

2名加入

☆署名  
(個人) 526筆・南14